

## MYK36 のセンターはきみだ！

妙高(MYOKO)のフィールドを拠点に、「幼児期の自然体験活動」や「幼児期に身に付けさせたい 36 の動き」に取り組みます。さらに苦手なことに挑戦したり、自分のことは自分で行ったりします。大自然の中で、たくさんのお友だちができます。お父さんやお母さんとも楽しく遊びます。

さあ、妙高の自然の中で 2 泊 3 日の冒険に出かけましょう！

1月19日(金) 1日目

なかよしタイム



グループのリーダーの先生から名札を受け取ります。「はじめまして！」



少し緊張したけど、みんなの前で自分の名前を発表しました。

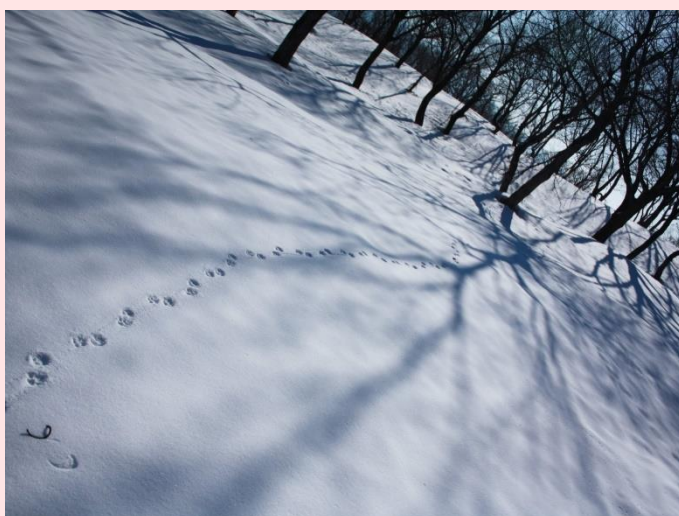


夜のなかよしタイムでは、お友だちと仲良くなれるゲームや、家族で力を合わせてクリアするゲームで盛り上がりました。





1月20日(土) 2日目



身支度は自分で整えます。雪でたくさん遊ぶぞー！



グループで作戦会議です。



雪はどんな形にもできるんだね！

妙高スノーワールド



みんなで作ったトンネル付きそりコース



こんなうちに住んでみたいな。



ソリで滑るととっても早いね！



自分の分は自分で取ります。みんなで食べるといつもより美味しいね。





1月20日(土) 2日目

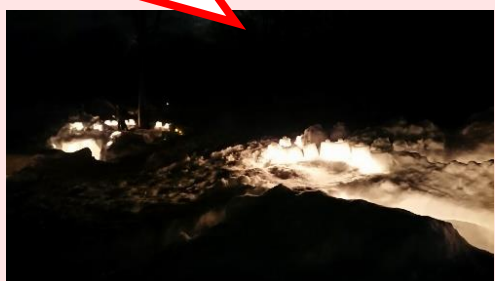


餅つきに挑戦



グループのリーダーの先生たちは、出来たお餅を丸めます。

スノーワールドにろうそくを飾りました。



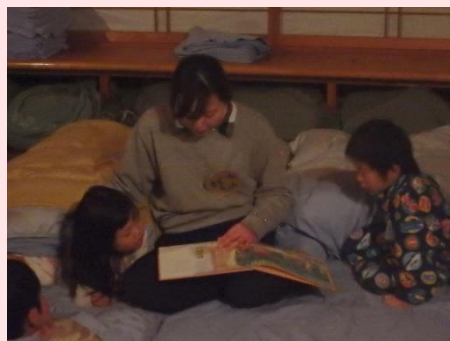
・きなこ  
・しょうゆ海苔  
・お雑煮  
どれもおいしいね。



夜は家族とは別の部屋で、グループのお友だちと一緒に寝ました。



いっぱい遊んで楽しかったね



お父さん・お母さんたちは「子育てカフェ」。ゆっくりと語り合う時間を過ごしました。



協力してお布団の準備をして、グループのリーダーの先生から絵本の読み聞かせ。ゆっくり眠れたかな？





1月21日(日) 3日目



深雪の森に出発！



雪の壁を登り切るまで、もう少し！



うさぎのウンチを見つけました。



お父さん・お母さんたちの長いトンネルをくぐって滑りました！



楽しかったキャンプの最後は思い出を絵に表します。



木登りに挑戦したり、ツルのブランコを楽しんだり、根元の洞を探索したり、自由な遊びが広がりました。



全身を目いっぱい使って斜面を滑り雪の感触を楽しみました。お母さんと一緒に滑るのもうれしいネ。



グループのお友だちに発表したあとは、記念のメダルをもらいました





色々な地域から、様々な環境で育ってきたお友だちが集まった3日間。みんなの活動やしぐさのすべてがキラキラと輝いていました。時に笑い、時に泣き、不安な気持ちに打ち勝とうとする姿や挑戦した後の自信を得た清々しい顔が本当に印象的でした。子どもたちの無限の可能性や豊かな発想から生まれた遊びは、我々の想像をはるかに超えるもので、見ているだけで、ワクワクさせられるものでした。

一人一人が個性豊かに輝いたその姿、ここで見せてくれたすべての顔が、純粹で子どもらしく輝いていたね。発表します。MYK36 のセンターは、「みんなです！」



国立妙高青少年自然の家

平成30年 1月19日(金)～21日(日)

参加者 4歳児・5歳児の皆さん 20名

参加家族 お父さん・お母さん・きょうだい 34名

スタッフ 国立妙高青少年自然の家自然の家職員 3名

国立室戸青少年自然の家 1名

妙高市教育委員会より指導主事・保育士 4名

上越教育大学・上越教育大学大学院・国際自然環境アウトドア専門学校の学生 7名